

当院で入院治療中に転倒・転落をご経験された患者さんへ

## 「 当院における睡眠薬フォーミュラ導入と 転倒・転落防止効果の評価 」への協力をお願い

当院では、下記の期間に当院で入院治療を行った際に転倒・転落をご経験された患者さんの情報を用いて研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象：**2022/12/1～2023/6/30、2023/12/1～2024/6/30 の期間内に当院で入院治療を行った際に転倒・転落をご経験された方

**研究期間：**当院における倫理審査承認後～2024/10/31

### 研究目的・利用方法：

医療施設において入院患者さんの転倒・転落の発生予防は大きな課題となっています。転倒・転落が発生する要因の一つとして、睡眠薬等の薬剤使用の影響があります。近年発売された新規作用機序の睡眠薬としてオレキシン受容体拮抗薬（OXRA s）であるレンボレキサント等は、既存の睡眠薬と比較して転倒・転落発生リスクが低いことが報告されています。しかし、OXRA sが転倒・転落発生に与える影響について報告した文献は少く、詳細は未だ明らかにされていません。そこで本研究では、入院患者さんにおける各種睡眠薬の使用量および使用人数と睡眠薬の影響が示唆される転倒・転落の発生件数の推移を比較検討することで睡眠薬と転倒・転落の関係性を明らかにするための一助となります。

**研究に用いる情報の利用を開始する予定日：**当院における倫理審査承認後

### 研究に用いる情報の項目：

患者背景（年齢、性別、既往歴、治療歴、入退院情報、薬剤情報）

インシデント管理システム「ファントルくん」に集積されている転倒・転落の報告内容

※この際、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人を特定するような情報は研究に使用しません。

### 外部への情報の提供：

個人が特定されないように情報を加工したうえで学会発表等に使用する予定です。

### **研究への参加辞退をご希望の場合**

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果について質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので以下の連絡先まで申し出ください。本研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において患者さんに不利益が生じることはありませんのでご安心ください。

### **研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反**

研究者および研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

### **研究責任者**

中部国際医療センター 薬剤部

職名：薬剤師 氏名：前田 恭佑

### **連絡先**

中部国際医療センター 薬剤部

電話番号：0574-66-1100

責任者氏名：前田 恭佑